

S.COAT No.2015 GHクリヤー

(PRTR 特化則対応 超高外観・耐スリ・速乾タイプ 2:1)



1. 製品の特徴

(4類第2石油類 荷姿 16L 2011年上市)

- 1) 超高外観速乾クリヤーで高級車用に適し、平滑な塗り肌とツヤが得られる。
- 2) ワキ(アワ)、モドリ(色の変化)が発生しにくい。耐スリキズ性にも優れる。
- 3) 最高水準のハイツリッドクリヤーで VOC 排出量が極めて少ないエコ塗料。
- 4) 加熱残分 51.2% VOC 削減率 50.3% (HX クリヤー比)
- 5) 実車塗装実績 10 万台。促進耐候性試験合格。

2. クリヤー、硬化剤、シンナーの配合量と希釈塗料の可使用時間

混合比率 (重量比率)			希釈塗料の可使用時間 (時間)		
クリヤー	硬化剤	シンナー*	10℃	20℃	30℃
100	50	20~35	2	1	0.5

*シンナー希釈量は推奨量であり、気温・塗装面積により調整してください。

(注意) 30℃以上の気温では可使用時間が短くなりますので、調合後速やかにご使用願います。

3. 乾燥時間

	乾燥温度 (℃)			
	10℃	20℃	30℃	60℃
指 触 乾 燥	10分	5分	3分	—
強制乾燥前セッティング	0~5分	0~5分	3~5分	—
コンパウンド研ぎ可能	8時間	4時間	3時間	15分
屋 外 放 置 可 能	5日	48時間	24時間	30分
ガ ソ リ ン O K	7日	5日	72時間	60分後1日
再 塗 装 可 能 時 間	—	—	—	60分
完 全 硬 化	—	—	3日	120分

※膜厚、塗装面積、諸条件により乾燥時間は若干変わります。(標準膜厚30~50μ)

4. 硬化剤の気温による選択基準 (GHクリヤー単独で1年間通じて使用する場合)

硬化剤名	塗装温度 (℃)			
	5	15	25	35
速 乾	○	○	×	×
標 準	○	○	○	△
遅 乾	△	△	○	△
超 遅 乾	×	△	○	○

※冬場は超速乾や速乾シンナー、春秋は標準シンナー、夏場は遅乾や超遅乾シンナーを使用してください。塗装回数は1.5~2回。

ボカシ塗装は残りのシンナーに1回目シンナーを30~50%。2回目さらにシンナーを50%添加し2段ボカシで行う。

5. 冬場は作業性を夏場は仕上がり性を希望される場合 (GTクリヤーとの併用)

製品名	適正温度範囲 (℃)			備 考
	硬化剤速乾	硬化剤標準	硬化剤遅乾	
冬 GH	5~15	10~15	—	5℃以下では硬化促進剤の利用も検討下さい。
春・秋 GH/GT	—	15~25	—	GH / GT の併用あるいは混合で使用下さい。
夏 GT	—	20~30	25~40	夏場は遅いシンナーを利用下さい。

※GHとGTクリヤーの併用あるいはブレンド(混合)で季節に合わせた使用方法を行ってください。